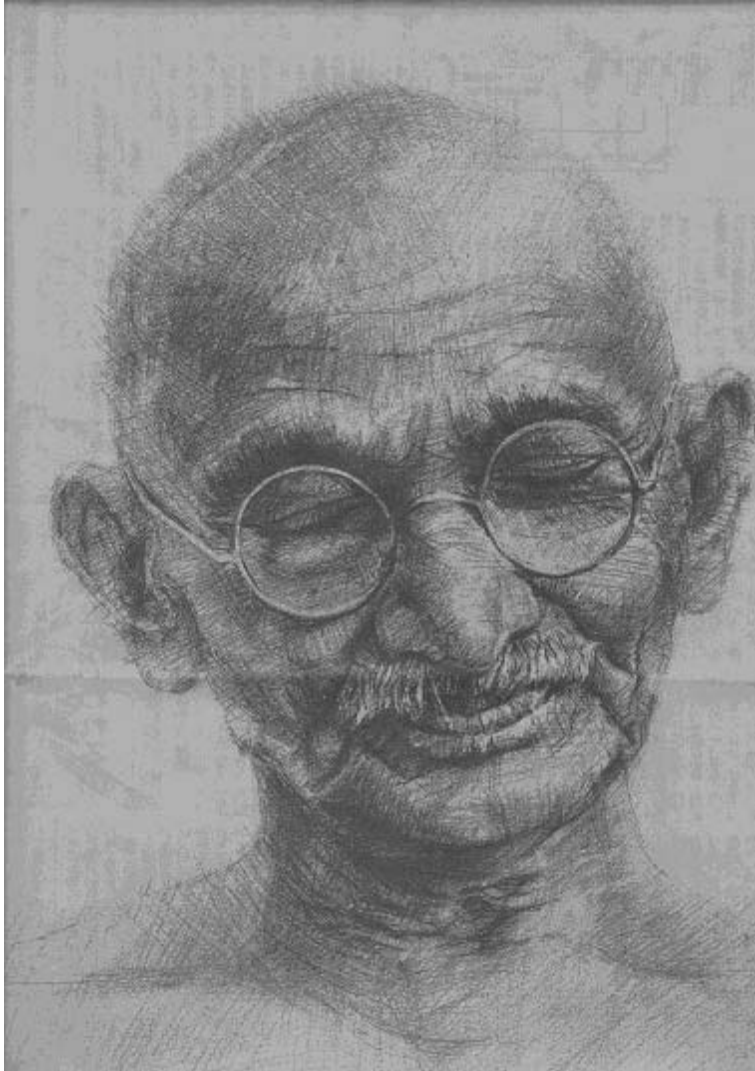


善きことは、カタツムリの速度で動く。



マハトマガンジー (インドの父)

1869、10月2日生誕 ~ 1948没

学校の成績は中位で、臆病な生徒。しかし並はずれた道徳心の持主。18歳でイギリスへ。弁護士の資格を得、友のために南アフリカへ渡る。そこで直面したのは、人間の人間に対する差別と屈辱。その体験が人生の一大転機。彼の地における21年間で芽生えたのは、非暴力による不屈の精神。獲得したのは、国際的な賞讃。そしてこの信念と確信を胸中に1914年帰国する。しかし、母なる祖国インドはイギリス植民地。抵抗と闘争の中、度重なる逮捕と投獄を甘受する。断食もいとわず、聖なるものの面前において恥じることのない“真我”を追究。宗教に融和を努め、カースト制度の廃止にも心を砕く。「私の全行動は、人類への奪うことのできない愛から生じる」—この信念ゆえに、非暴力を徹底。そして、女性への限りない敬意、青年への期待と熱意、人々への絶対的信頼と賛意を表出した。その人の名は、マハトマ・ガンジー。彼の行動を象徴したのは、“塩の行進”。イギリス人に専売されていた塩を自分たちで作らんと、アーシュラムから海岸までの385キロを24日間かけてゆっくり歩く。「善きことは、カタツムリの速度で動く」それは数百万人の奇跡の大運動となった。こうした闘いを重ねて、1947年、インドは200年にわたるくびきを断って、悲願の独立を達成。しかしその翌年、一人の狂信者によって、ガンジーは78年の生涯に終わりを告げた。最後の言葉は「その青年を許せ」であったという。

「子どもの子どもたちの子どもたちのために」

茶毘にふされたラージガートに、ガンジーの碑文が刻まれている。

『七つの社会的罪』 Seven Social Sins

- 1.理由なき政治 Politics without Principles
- 2.労働なき富 Wealth without Work
- 3.良心なき快楽 Pleasure without Conscience
- 4.人格なき学識 Knowledge without Character
- 5.道徳なき商業 Commerce without Morality
- 6.人間性なき科学 Science without Humanity
- 7.献身なき信仰 Worship without Sacrifice

マハトマ・ガンジーのこの魂の箴言は、
人類への普遍的な問いかけである。



(ババ)

インド料理 プルニーマ
パンディ・スニル・クマール
いわき市平南白土1丁目10-2
ナガヤマクリーナービル2F
TEL&FAX 0246-25-1550
営業時間 AM11:00~PM10:00
定休日 毎週水曜日

(但し、水曜日が祝日の場合は営業しております)

www.purnima-indocurry.com

www7.ocn.ne.jp/~purnima

babaji@gamma.ocn.ne.jp